ホームルーム活動（人権）　学習指導案

1　主　　題　　高齢者の人権について

2　主題設定の理由　（省略）

3　ね　ら　い

（1）偏見をもつことの誤りを学び，高齢者の人権を尊重する態度を身につけさせる。

（2）高齢者の思いや願いを大切にし，高齢者が安心して暮らすことができる社会の実現にむけて適切な行動が取れるようにさせる。

4　指　導　計　画

（1）これまでの学習

結婚差別について考えよう　・・・・・・・・1時間

就職差別につながるとされる１４項目　・・・・・・・・1時間

いじめ　・・・・・・・・1時間

高齢者の人権について①　・・・・・・・・1時間

（2）本時の学習

高齢者の人権について②　・・・・・・・・1時間

（3）これからの学習

人権教育講演会　・・・・・・・・1時間

アンケートと３年間の総括　・・・・・・・・1時間

5　本　時　の　学　習

（1）目標

ア高齢者に対する偏見をなくし，高齢者に対する思いやりの心を身につけさせる。

イ高齢者の自立生活を支えるために家族や地域および社会の果たす役割について認識し，全ての人がよりよく生きることについて考えることができる態度を身につけさせる。

（2）普遍的な学習のテーマ・個別人権課題名

普遍的な学習のテーマ・・・・・個人の尊厳，人権尊重の精神，人権に関する権利・規約

個別人権課題名　・・・・・・・・高齢者

（3）展　開

時間（分）	学習活動	指導上の留意点	評　　価
導入（5分）	○本時の学習目標を理解する。	○日本の高齢化の現状と推移を確認し，本時の目標を説明する。	

展開 （３５分）	○前時の学習内容をふまえ，ワークシート①に取り組み，高齢者の身体機能の低下について考える。各班で話し合い，全体に発表する。	○高齢者疑似体験を通して，高齢者の身体面だけでなく，心理面についても考えさせる。 ○高齢者に対して，周囲の優しい声かけや心遣いが必要であることを理解させる。	○自分の意見を発表し，周りの意見を聞いて考えを深めることができている。（技能的側面）
	○ワークシート②に取り組み，高齢者自らが存在感や誇りを持ち，生き生きと暮らせるために何が必要かを考える。各班で話し合い，全体に発表する。	○ワークシートにあるダイヤモンドランキングを考えさせる。ランキングするときの理由づけを大切にし，互いの考えを尊重しながら深めていくようにさせる。	○高齢者に対して肯定的な思いや尊敬する気持ちをもつことができている。（価値的・態度的側面）
	○高齢者のために自分ができることや，社会全体はどうなっていくべきかについて考える。各班で話し合い，全体に発表する。	○生活実態から高齢者が不安に思うことや，最も望んでいると思われることを視点にして考えさせる。	○高齢者が暮らしやすい社会について積極的に考えることができる。（価値的・態度的側面）
まとめ （１０分）	○本時のまとめを聞き，授業で感じたことを人権委員が発表する。	○高齢者を取り巻く人権問題を理解し，すべての人が安心して暮らせる社会を実現するために自分はどうすればいいかを考え，行動に移すことが重要であることを認識させる。	○高齢者が安心して暮らすことができる社会の重要性について理解できている。（価値的・態度的側面）